

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	住宅需給構造小委員会		主 査 名：吉川 徹 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築社会システム委員会		委員長名：安藤 正雄
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	1. 住まい手の需要に応じた住宅供給システムと、実現のための政策に関する研究 2. ライフスタイルの観点から見た住宅需要の分析 3. 住宅需給に関する戦後の年表作成に向けた資料収集・整理と事例の収集・整理		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	伊藤 史子／首都大学東京・藤岡 泰寛／横浜国立大学・松本 真澄／首都大学東京 加納 国雄／(財)日本不動産研究所・木内 望／国土交通省国土技術政策総合 研究所橘田 洋子／Citrus・左海冬彦／建築行政情報センター 志岐 祐一／(株)日東設計事務所・首藤 亮一／国土技術研究センター 瀬川 祥子／三菱UFJ リサーチ&コンサルティング・田中 勝／山梨大学 生田目 裕／東京都宅地建物取引業協会・米野 史健／建築研究所 吉川 徹／首都大学東京・頼 あゆみ／国土交通省		
設置 WG (WG 名：目的)			
2011 年度予算	60,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/keizai/jj/	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (他に作業打ち合わせ 1 回)
刊行物 (シンポジウム資料 等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セ ミナー・研究会・見 学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と 得られた成果との関 係)	1. つくば市研究学園の先進的住宅供給事例を多角的に分析し、成果を得た。 2. 多摩ニュータウンにおける高齢者の住宅需要を中心に分析し、成果を得た。 3. 公団・機構の子どもスペース供給史を中心に分析し、結果をまとめた。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 特に戸建住宅地の先進的供給事例をさらに収集したい。 2. 高齢者の住宅需要について他地域の事例との比較を図りたい。 3. 最終年度として供給史に関する分析成果のまとめを図りたい。